

田原公民館報

平成24年
11月号



発行人 公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 平古 力三

「新しい商品」

施設長 平古 力三

ワープロができたころ、漢字が打てる事に驚きました。それもつかの間、パソコンの出現で、まだ新しいワープロが埃をかぶって押し入れの中となりました。十分使えるので置いていたのですが、機能では便利なパソコンにかないません。もったいないことです。が廃棄しました。ところが、パソコン用紙の中にワープロの感熱用紙がまだ残っているではありませんか。開封もしない新品ですが本体が無ければただの紙です。廃棄か、せいせいメモ用紙ぐらいです。それどころか、パソコン自体もどんどん新規格となつて古いパソコンはまるでワープロと同じ運命のように片隅に追いやられます。時代の流れがどんどん速くなっています。ポケベルからPHS電話、携帯電話へと、その機能を使いこなそうとする間に、スマホの便利で使い勝手の良い、楽しい商品が各社から次々と宣伝されています。確かに、経済活動としては新しい商品で需要を起す必要があるのでしょうか、使い捨てされた商品はなんだかかわいそうな気がします。子供の頃は、包装紙や結び紐でも再利用するために大切に残していました。今も、ラジカセやビデオテープも捨てるのはもったいないと残してはいるのですが、そんな物があちこちにあります。結局ワープロ用

紙のようにかわいそうですが使い道もなく場所ばかり取るお荷物になってしまします。一方、物は使い込むほど手になじみ応えてくれます。愛情も生まれて来ます。世の中が早く移り変わる時こそ、私達は無駄を



なくし物を大切に使いきる、再利用し、資源化する、こんな人にやさしい生活習慣をしっかりと守って伝えて行きたいものです。ところで、田原公民館は日々の学習を生活の習慣にしていたく生涯学習の拠点です。ずっと健康で充実した生活を送るために地域の方や市内の方との新しい出会いや交流も公民館で楽しんでいただけます。田原公民館はさまざまな魅力ある学習の新商品をご提案します。生涯学習が生活習慣となつて元気で楽しい生活ができる「新しい商品」を田原公民館で手に入れてください。

田原公民館開館40周年記念プレイベント
主催講座『古事記』編者
太安萬侶の墓と墓誌を考える

田原を知り、田原に学ぶ

前園実知雄先生のお話を伺って

田原小中学校 教頭 榎本 克之

10月5日(金) 古

事記編纂1300年

記念イベントの一環

として、田原公民館

において奈良芸術短

期大学教授の前園実

知雄先生の講演会が

行われた。



講演中の前園教授

テーマは『「古事記」編者太安萬侶の墓と墓誌を考える』。前園先生は33年前太安萬侶の墓が発見された時、調査に関わったお一人で、それだけに講演内容は当時の興奮が伝わってくるものであった。聞けば聞



当時の様子を熱心に聴く中学生



たくさんの受講生の方を迎えました



発見当時の写真も見せていただきました



墓前で祈禱



太安萬侶墓でもお話を伺いました



受講生代表の玉串奉奠



第一発見者 竹西 英夫さん

くほど「奇跡!」といっても過言ではない発見であることがよくわかった。さらに講演当日、太安萬侶の墓誌に、新たな発見があったとの報道があり、あまりのグッドタイミングに驚いた。せっかくなので、中学生も講演会に参加させていた。今から1300年前の人物ではあるが、生徒がこの講演を通して太安萬侶に興味を持ち、身近に感じてくれたらと思う。また、自分が住む田原には、このような素晴らしい宝物があるということを知って、もっと田原が好きになってくれたらと思うひとときであった。

★田原なんでも文化祭からのお知らせ
★地区の皆さまの作品を募集しています。
出展していただける方は公民館まで事前にお申し込み下さい。搬入日(9日午後から)

★蕎麦打ち体験の参加者を募集しています。
日時 11日10時~12時 費用650円(材料費)
ご希望の方は公民館までお申し込み下さい。

